

下伊那西部 シルバー便り

第22号 平成31年1月10日発行
 (公社)下伊那西部シルバー人材センター
 〒395-0303 下伊那郡阿智村駒場487-1
 電話 0265-43-2244 FAX0265-43-2290
 根羽事務所
 電話 0265-49-2108 FAX0265-49-2981



さて、今年には平成最後、五月から新しい元号となる歴史的な年となります。いつの時代も、私たちは自分達の住む地域に「誇り」と「自信」を持って、生き生きと生活し、次世代を担う若者にしっかりと引き継いで行くことが責務であると思います。こうした中で、十周年を迎えた下伊那西部シルバー人材センターは、持続可能な地域を作るために、それぞれの皆さんの得意とする分野で様々な活動をして頂いております。様々な苦労があつて十年を支えて下さった皆様に感謝し、新たな一歩を踏み出して頂いた平成三十一年も、さらなる発展を願うものであります。

新年あけまして おめでとうございます

輝かしい新年を迎え、会員の皆様方におかれましては、平成三十一年の新春を健やかに迎えになったことと思います。本年も皆様のご多幸を心からお慶び申し上げますと共に、日頃からそれぞれの村政に對しまして、ご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

新年のごあいさつ

阿智村長 熊谷 秀樹

今後も人手不足が続くと予想される中、シルバー人材センターへの期待度は更に大きくなると考えられます。これからも、今まで培ってこられた様々な技術や能力をさらにいかして頂いて、元気に健康で活躍頂くことを祈念するところであります。

さて、当村では第六次基本構想が「阿智家族」であり、村ごと大きな家族として、夢を語り合い、支えあい、助け合って生きていく、すべての人の心のふるさととして、人も星も輝く村をめざしていくという考えです。この西部地区のまとまりや絆は大変強いものがあります。行政も一丸となってこの地域の発展に尽力して参る所存です。最後に、これからも一緒に頑張って活躍頂くとともに、下伊那西部シルバー人材センターの益々のご発展をご祈念申し上げ挨拶と致します。



設立十周年記念お礼

理事長 原 英行



当シルバー人材センターは昨年十一月に関係者の皆様のご支援をいただいで設立十周年記念式典を開催することができまして大変ありがとうございました。

式典では長年に渡って就業先を提供いただいた事業所へのお礼、会員及び役員の表彰に続いて、阿智村に全国唯一満蒙開拓に特化した記念館が設置されて五年、天皇皇后両陛下

がご来訪いただいた同館の寺沢館長による講演をお願いしました。

センター設立から一年半後の平成二十三年公益法人法改正の時期が重なり、シルバー人材センターは共働・共助の性格から言っても、全国・県下の他のセンターと共に当地域唯一の公益社団法人へと移行しました。それまでの社団法人と違って公益性のもと税制面などの特典はあるものの、事業内容の精査や収支相償の決算など公益性を重視しての運

営が求められています。このため、国及び関係自治体からの補助金は勿論のこと、費用は公益性にのみ使えることとなっており、就業に伴う事務費についても一定制約があることから、今回設立以来初めて会費制による懇親の場を設けることができました。

第三部の祝賀会は会員のみならず関係自治体の理事者の皆様にもご出席いただき、会員を中心とした多彩な芸が披露され式典に花を添えることができました。

顧みますと今から十三年前、高齢法では高齢化社会に対応して雇用によらない就業の機会で、全国隈なくシルバー人材センターを設置することとしていますが、下伊那西部地区はシルバー人材センターが設置されていない空白地域となっており、ことから、地域の先陣達の努力により村ごとの任意センターから、広域センターとして県知事の認可を得て設立されました。

当地方は純粋な農山村地域で大きな工場等が無くシルバーの需要は草刈りや草取りが主体という状況でしたが、自家農業を主体とした方々が多く加入して全体で二百人弱の会員でスタートし、夏場が主体の屋外作業に汗水流して活躍してきました。

シルバーの仕事は請負や委任による方式が主体でしたが、全国的に団

塊世代が高齢者となつたいま工場勤めなど前職が被雇用者で、屋外作業に馴染めない層が多くなっていることから、派遣による雇用関係の就業の割合が高まっています。

当センターでは派遣による就業は、デイサービスの送迎、製品の運搬など運転関係が主体ですが、今後多くの仕事で高齢者による派遣雇用を取り組んでいかななくてはなりません。なお一層高齢化する当地方においてシルバー人材センターが今後地域での不可欠な組織として発展するよう会員の皆様のご努力と、関係する皆様の更なるご支援をお願いいたします。



設立十周年記念

永年役員表彰者

福 岡 昭 一	山 田 す み 子
片 桐 和 人	北 原 澄 男
水 上 重 人	石 原 昭 俊
水 上 文 保	井 原 里 美

永年会員表彰者

阿智村				阿智村				
坂 本 悦 蔵	水 上 稔	上 谷 克 彦	谷 本 正 明	熊 谷 扔 州	内 田 勝 喜	塩 澤 尹 文	原 大 月 京 行 子	後 藤 澄 等 男
原 小 野 国 明	平谷村	北 原 櫻 井 茂 男	小 野 訓 子 紀	木 下 克 敬 一	小 熊 谷 正 紀	後 藤 廣 一	原 田 幸 子	川 上 金 司 郎
山 本 妙 子	根羽村	片 桐 政 兼 子	山 本 妙 子	小 池 義 三 夫	田 中 和 子	片 桐 政 治	田 中 啓 子	片 桐 井 甫 恵
太 田 博 重 一	片 桐 淳 和 行 充	羽 場 崎 重 子	石 原 祥 啓 久 枝 成	石 原 啓 久 幸	原 井 原 里 美 雄 江	石 原 啓 久 幸	井 宮 下 英 雄 江	井 原 岩 江

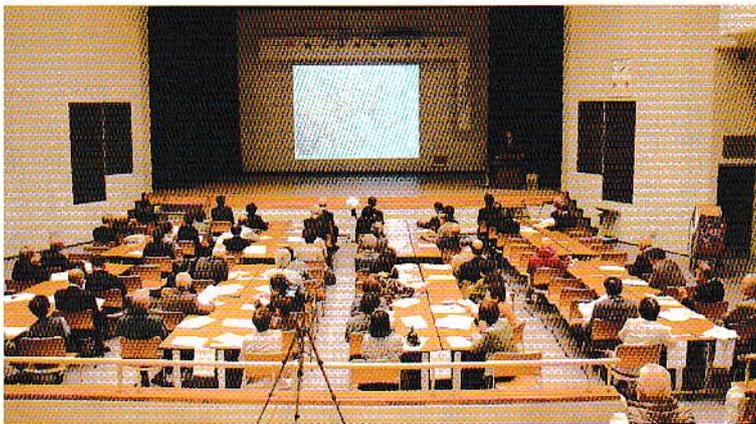
感謝状贈呈者

医療法人健生会アルテンハイム会地の郷
社会福祉法人夢のつばさ
社会福祉法人阿智村社会福祉協議会
株式会社マイハウス社
社会福祉法人愛知慈恵会
社会福祉法人根羽村社会福祉協議会
有限会社アルパ
有限会社角井
ネバーランド株式会社
株式会社伍福園



設立十周年記念に当たり、シルバー事業に貢献のあった方々の表彰が行われました。今回表彰された発注者、役員、永年会員の方々は次のとおりです。（敬称略・順不同）

記念式典



第二部記念講演では、満蒙開拓平和記念館の寺沢秀文館長から「満蒙開拓平和記念館〜開館5年を振り返って〜」の講演をいただきました。寺沢講師からは、満蒙開拓はその背景や実態などの史実から、忘れてはいけない歴史であり、二度と繰り返してはいけない歴史として、満蒙開拓記念館から発信していきたいと熱く語られた。

記念講演会



第三部祝賀会では、地元の皆さんの出し物で、さわやかクラブによるダンス、楽しいをつくるサロン阿智のスコップ三味線、根羽村の天下杉による歌・演芸が行われ楽しい祝賀会になりました。

祝賀会



根羽村 啓充
石原 啓充

明けましておめでとうございます。シルバー人材センターへ入会して早いもので十年の歳月がたち、先頃十年表彰をしていただきまして、ありがとうございます。今年、平成から年号が変わりますし、私としても新しい事にチャレンジしてみたいと思っておりますが、何分にも年を考えますと、やはり今までどおりの仕事を確実にこなして行く事が一番かと思っています。



根羽村 龍男
片桐 龍男

新年のお慶びを申し上げます。

シルバーに加入して、六年目になります。夏の暑い時期の草刈りが主な仕事になりますが、過去の経験知識を活かしながら、先輩と互いに汗を流しています。安全に綺麗に丁寧に仕上げるよう心がけ、住民、依頼者の喜ぶ姿を力にかけて頑張っています。

次の亥の年を元気で迎えられるよう願うところであります。

全会員皆様の健康と活躍と、センターのさらなる発展をお祈り申し上げます。



根羽村 甫
筒井 甫

改元の年

今年、歴史的な改元の年になります。どんな新しい時代になるのか楽しみです。今こうして暮らしていられるのも、健康でいられるからだといづく感じの頃です。毎日の農作業や老人クラブの活動や、シルバー人材センターでのお手伝いなど忙しい毎日ですが、人との出会いや交流を大切にしながら、楽しい毎日を過ごして行きたいと思えます。今年も趣味のゴルフを仲間の方々と楽しみながら、年が変わっても、朝の来ない日はないので、一日を大切に元気な一年にしたいと思っています。

阿智村春日 原 宏子

人材センターに入会したのは今から十年前です。今思えば若かったですね。

足腰もしっかりしており、めったに行けない、そしてめったにできない様なことも経験させていただきました。

会員の皆様ともきずなが深まり、また多くの利用者さんとも時には、会話を楽しみ、生活の幅も広がってまいりま

した。入会しまして本当によかったと感謝いたしております。これからも健康の許す限り、続けてまいりたいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

阿智村伍和 原 陽子

シルバーの仕事に携わらせて頂く様になって、十年・・・早十年の歳月が過ぎてしまいました。先日十周年の式典が行われ、私にも表彰状を頂き感謝しています。参加させて頂いた保育園の窓ふきは、子供達の元気に遊ぶ姿、はしゃぐ声を聞きながらの中で作業をし喜びを感じました。野菜作りに励みながら、孫の子守と成長を楽しみに日々過ごしていますが、できる限りシルバーの仕事にも参加して行きたいと思えます。

阿智村駒場 松井 義明

シルバーに御世話になり二年目に入っています。一昨年は古希を迎え、今年ぶりに同窓会を開き昔の話をしたのに今年、六回目の年男だと言つ。五回目までは何とも思わなかったが、さすが六回目となると我ながら恐ろしく感じる時もあります。終戦後に生まれ物心のついた頃は何も無く、こんなものかと思ひ過ぎてきたが、七十年後の今は、欲しい物も手に入り生活も楽になり昔と比べるとよい時代になったものだ。次の年男まで頑張れるかな？

会員募集中!

農作業、草刈り作業、草取り作業、庭木の剪定や支障木の伐採作業、高齢者の通院支援をしていただける方、是非会員になって一緒に働いてください。

入会できる方は、阿智村、平谷村、根羽村にお住まいの方で健康で働く意欲のある六十歳以上の方です。



随時受け付けていますので、阿智本所または根羽事務所までお問い合わせください。

シルバー人材センター (愛称 生き活きセンター)

地域社会の創り手を探しています



連合会 設立二十周年記念式典

なじみの
諏訪東京
理科大学
教授の篠
原菊紀氏
の「脳を
鍛える脳
活トレー
ニング」
の講演が
ありまし
た。



公益社団法人長野県シ
ルバー人材センター連合
会の設立二十周年記念式
典が十一月一日岡谷市の
カノラホールにおいて開
催され、当センターから
は八名が出席しました。
式典では、酒井登会長に
よる式辞、海野事務局長
による設立時からの経過
報告が行われ、その後表
彰では永年シルバー人材
センター事業に貢献され
た更埴地域SCの関口幸
男理事長、諏訪市SCの
平林正孝事務局長に表彰
状が授与されました。引
き続き長野県知事代理内
田雅弘産業政策館監兼産業労働部長
ほかの祝辞があり閉式となりました。
第二部の記念講演では、テレビでお



昨年十月二十三日～二十四日に研
修親睦旅行を行いました。参加者は
三十名で今回は根羽事務所出発で、
中央道・長野道・上信越道経由、「道
の駅あらい」で昼食をとり、研修先
の妙高市シルバー人材センターへ行
きました。センターは旧小学校を改
修した建物にありました。両SCの
代表者の挨拶の後、白倉事務局長さ
んから資料により活動状況や特徴等
の説明をいただき、その後質疑応答・
意見交換を行いました。妙高市SC
は長野県に接する妙高市にあり、平
成七年に新井頸南地域SCとして設
立、平成二十四年に公益社団法人妙
高市SCに移行、母体人口は3万2
千人、会員数は三六〇人（入会率は
2・6%）、内女性が九十四人と少

視察研修旅行



なく女性会員の増員が課題、とのこ
と。契約額は一億五千九百万円で当
センターの約1・3倍。このほか、
独自事業でわら細工「棒締め」「し
め縄」を通年で製作、当地方ではな
い「雪囲い」「野草採取」の仕事な
どの説明がありました。

意見交換等では、公共事業の内容、
独自事業の野草採取、飛石対策につ
いて質問等あり、特注で作っている
飛石ネットの現物を見せていただく
など有意義な意見交換が出来ました。
研修終了後は宿泊地の鶴の浜温泉へ、
夜の宴会では、会員による歌・踊り
で盛り上がった親睦会になりました。
二日目は、リニューアルされた上
越市立水族博物館「うみがたり」で
白いイルカやイルカショーなどを見
学し、昼食後は郵便の父「前島密記
念館」を見学し帰路につきました。

マレットゴルフ大会

八月三十日、阿智村わい・まひ公園
で参加者十三名の参加を得てスポ
ーツ交流会が開催されました。
今回は天気にも恵まれ、同公園で
マレットゴルフを行ないました。本
所管内から十一名、根羽事務所管内
二名の参加でした。大会は二十七ホ
ールストローク・プレーで行われ、
第一位は昨年に引き続きスコア九十
の田中啓子さんでした。今回は参加
者が少なく少し寂しい大会でした。
来年は多くの方にご参加いただき盛
大な大会にしましょう。

- 成績
- 一位 田中 啓子さん (伍和)
スコア 九十
 - 二位 宮下 英雄さん (伍和)
スコア 九一
 - 三位 山田すみ子さん (駒場)
スコア 九六



「事故のもと慣れて横着 自分流」

平成30年度 長野県安全・適正就業標語 最優秀作品(長野SC 森田京子さん)



今日も1日
安全就業

安全・適正就業大会

11月1日、長野県シルバー人材センター連合会の設立20周年記念式典に引き続き、安全・適正就業推進大会が開催されました。最初に安全・適正就業標語の表彰が行われ、長野SCの森田京子さんの「事故のもと慣れて横着 自分流」が最優秀賞に、以下優秀賞、佳作三点が表彰されました。

続いて、本年度表彰で最優秀賞を受賞(全国で2センター)した小諸北佐久シルバー人材センターの小林憲一専務理事から「安全就業シルバー人材センター優秀賞を受賞して」の講演があり、設立の経緯、事故の発生状況、安全講習会・パトロール、安全用具の自作、飛石対策、安全ミーティングシートなどの取り組みの発表がありました。最後に連合会の浅川安全適正就業パトロール指導員による「安全就業の現状と対策」についての研修が行われました。



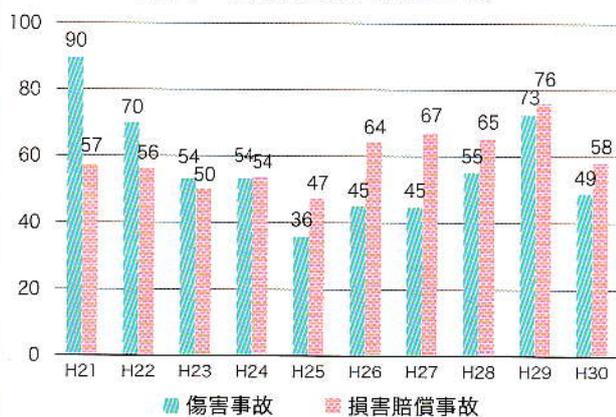
安全・適正就業標語の受賞者

30年度 事故発生状況

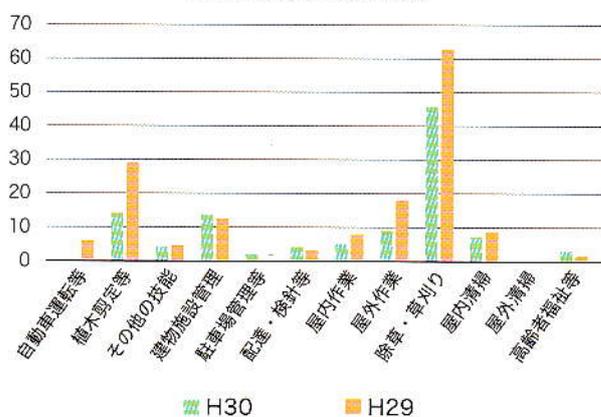
県下シルバー人材センターの4月から9月における事故件数は107件(昨年同期149件)と42件減になりました。重篤事故(死亡または6か月以上入院事故)については、1件発生しています。入院1か月以上6か月未満事故については、3件(同5件)と2件減となっています。就業中の事故件数は、98件(同137件)と39件減であり、就業途上の事故件数は、9件(同12件)と3件減となっています。また傷害・損害賠償事故件数及び作業別事故件数はグラフのとおりです。

「慣れ」と「これ位」が事故になっています。今一度基本を守り安全就業に努めましょう。

傷害・損害賠償事故別件数



作業種別事故件数



シルバー便りの最終原稿をまとめているが、今年も平成最後の年になる。「平成」とググってみると、平成元年は消費税3%が導入、ベルリンの壁崩壊の年であった。

その後三〇年が経過し新元号になる来年は、奇しくも消費税が5%、8%を経て10%に上がるようだ。軽減税率やポイント還元が言われているがどうなるのか。庶民に優しい税制にしてもらいたいものだ。

ともあれ、新しい年が良い年になりますようお願いいたします。



編集後記

会員の皆さんには、昨年一年間の配分金の「配分金支払証明書」を送付します。見積等をお願いしシルバーからお支払いした分も含めてあります。確定申告の資料にご活用ください。

配分金の確定申告について

新入会員の紹介

熊谷 賢一 阿智村 八月
よろしく願います。